

## エネルギー環境教育に関する意見交換会〈九州教職員ネットワーク〉 平成27年度第2回意見交換会を開催しました

11月7日(土)に「第2回意見交換会」を開催しました。

今回は、九州各県から計14名の小・中学校の先生方にご参加いただきました。校務お忙しい中ご参加いただきました先生方、ご派遣いただきました学校長や各教科部会長はじめ関係の皆さまに心よりお礼申し上げますとともに、実施内容につきまして、以下のとおりご報告いたします。

### 意見交換会

開催日時：平成27年11月7日(土) 11:00~16:00 会場：エルガーラホール7階1会議室

☆参加者	九州各県の先生方
社会科	4名(小学校2名、中学校2名)
理科	6名(小学校4名、中学校2名)
技術・家庭科	4名(中学校)
計	14名(小学校6名、中学校8名)

### ☆講師

長崎大学教育学部 藤本 登教授  
福岡教育大学理科教育講座 坂本憲明教授  
鹿児島県錦江町立田代中学校 山下信久教頭  
☆事務局 (九州エネルギー問題懇話会) 梶村、神山

### 10:58 開会、自己紹介

事務局長の梶村から開会挨拶を行った後、講師3名と初参加(第1回意見交換会欠席)の先生1名から、一言ずつ自己紹介をいただきました。

### 11:13 エネルギー環境問題に関する講演「エネルギー情勢と長期戦略」

[日本エネルギー経済研究所 研究主幹 柳澤 明氏]



柳澤講師から、震災前後のエネルギー状況の比較、エネルギー政策の変遷、エネルギー基本計画・長期エネルギー需給見通しの概要等、日本のエネルギー情勢と長期戦略について、お話しいただきました。

「日本のエネルギー戦略は、「化石燃料消費低減」、「エネルギー輸入低減」、「多様化」を実現することであり、そのために、「省エネルギー」をベースにしつつ、「化石燃料」、「原子力」、「再生可能エネルギー」のバランスをどうとっていくのかを考えることが必要である。その検討の視点が、「3E+S」(「エネルギー安全保障」、「経済性」、「環境」、「安全性」)である。」と説明されました。

「物事は、一点だけを集中して見ると、視野が狭くなってしまい、思わぬ副作用が出る場合があるため、広い視野をもって、多角的な視点をもって物事を判断していくことが必要である。特にエネルギーについては、長期に亘る問題であり、次の世代にも負担を強いるため、子供たちに長期的な視点で考え判断していくことの重要性を伝えていただきたい。」と訴えられました。



### 12:32 昼食

### 13:23 エネルギー・環境問題やエネルギー環境教育に関する意見交換[ファシリテーター：藤本講師]



講師3名が、参加者から寄せられた様々な質問に回答されました。藤本講師が、「先生方が、それぞれの教科で教えていく中で、教科間で物の見方が違うことを子どもに気づかせることが大切で、教科間を繋げていくような手立てを工夫することが必要である。」とコメントされました。

### 14:11 休憩

### 14:20 意見交換会（グループ討議）

テーマ“学校教育としてエネルギー環境教育をどう授業化するか”

[グループ討議：教科（社会科、理科、技術・家庭科）をベースに3グループ]

#### ① 先生6名、ファシリテーター：坂本講師

メンバーから、第1回意見交換会以降のエネルギー環境教育の取り組み状況について報告されました。

「エネルギー環境教育の必要性と価値を伝えていくことが大切であるため、先生方向けの研修会を開催すると共に、保護者向けの取り組みとして、夏休みの家庭教育学級で「理科実験教室」を開催した。また、学年全体の授業参観も実施した。エネルギー環境教育に関する意識が希薄になっていかないような手立てが必要であると感じている。」等、エネルギー環境教育の推進に向けた積極的な授業実践が複数発表されました。

最後に、坂本講師が、「言葉」だけを教えるのではなく、子供たちが自ら考えていこうとする態度（意欲）を「エネルギー・環境」で養っていくことが必要である。」と締めくくられました。



#### ② 先生3名、ファシリテーター：山下講師



メンバーから、第1回意見交換会以降のエネルギー環境教育の取り組み状況について報告されました。

小学校1年生を担当されている先生から、「生活科」の中で子どもに「自然」を体験させることを考えたが、「体験から経験に昇華させるためには、言葉の獲得が必要である」と考え、「言葉の獲得」を目標とした授業（特活）を行った。」と発表される等、発達段階に応じた前向きな授業実践が発表されました。また、実践の中で、苦勞した点や顕在化した課題が発表され、当課題

の解決に向けて、活発に意見交換されました。続いて、山下講師から、新聞や広告等を基に、「エネルギー・環境」に関する情報が提供されました。

最後に、山下講師が、「エネルギー環境教育は難しく考えず、まずは私たち自身が意識を持つことが大切で、そういった先生が一人でも増えていけば良いと考えている。」と締めくくられました。

### ③ 先生4名、ファシリテーター：藤本講師



メンバーから、第1回意見交換会以降のエネルギー環境教育の取り組み状況について報告されました。「家庭科」として、「消費生活と環境」の観点からエネルギー環境教育を考えた場合、「食糧自給率」、「フードマイレージ」、「地産地消」等がテーマとして考えられるため、これからそういったテーマで実践していきたい。」等、エネルギー環境教育推進に向けた積極的な意見や具体的な取り組みが発表されました。その後、「エネルギー環境教育」について、「技術・家庭科」の特性から、「生活」をテーマとして、様々な情報や意見が交換されました。

最後に、藤本講師が「エネルギー・環境」をテーマに、「エネルギー教育モデル校」の指定（経済産業省資源エネルギー庁）を受けている佐世保市立早岐中学校で行った授業内容について、情報提供されました。当内容を踏まえ、教育現場で顕在化している諸課題の解決に向け、活発に意見交換されました。

### 15:25 グループ毎の発表・まとめ

各グループで話し合った内容を発表していただきました。



### 15:45 事務連絡

事務局より、今年度参加のお礼とアンケートご記入のお願いを行いました。

### 15:50 閉会

#### <当日の配布資料>



#### <準備物>



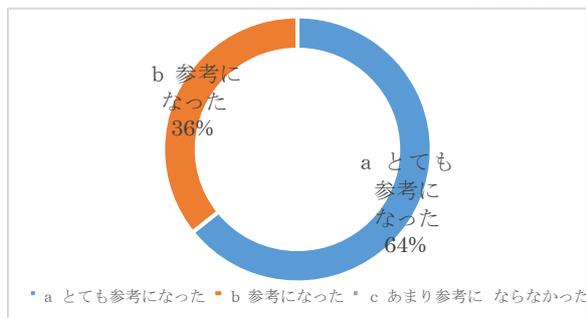
参考資料として、九州内で使用されている、小・中学校の社会科、理科、技術・家庭科の教科書を準備しました。

## 第2回意見交換会を終えて

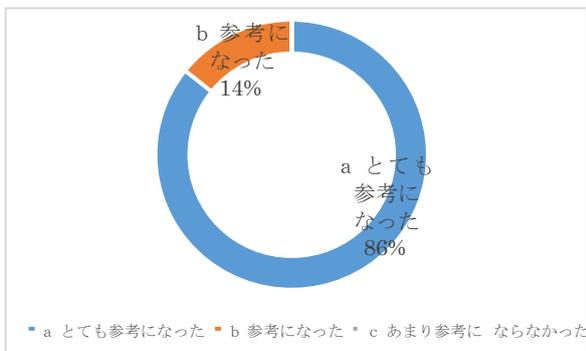
[参加者アンケートから]

### ☆ 講演“エネルギー情勢と長期戦略”

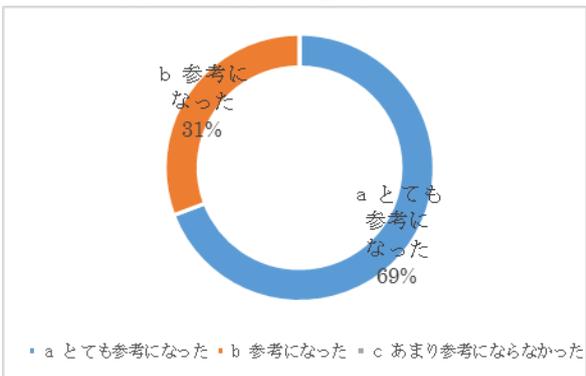
[日本エネルギー経済研究所 研究主幹 柳澤 明氏]



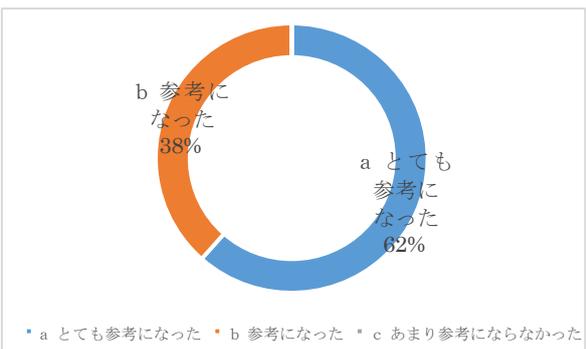
### ☆ エネルギー・環境問題とエネルギー環境教育に関する意見交換



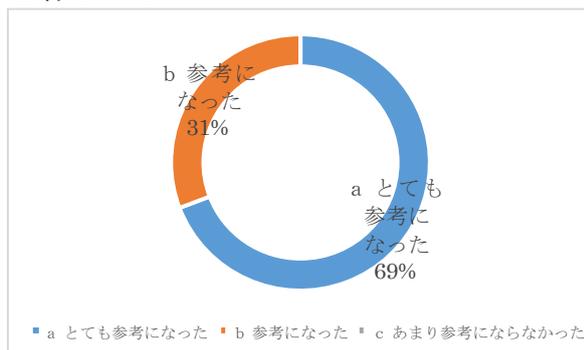
### ☆ グループ討議“具体的な授業計画づくり”



### ☆ まとめ“学校教育としてエネルギー環境教育をどう授業化するか”



## ☆ 全体として



### <感想・ご意見>

- ・ いろんな先生方、特に他県の先生方と直接話す機会があり、とても有意義だった。
- ・ 先ずは、知ることが1番だと思った。先生方との情報交換や講演の中には、授業に活かせる内容がたくさんあった。今日学んだことを今後活かしていきたい。
- ・ できることから始めようと思った。
- ・ エネルギーについて知らなかったことや、グループ討議で他の先生の話が聞いて良い刺激になった。
- ・ いろいろな話を聞くとその大切さを感じるが、現場の忙しさの中でどのように実践に繋げていくかが課題である。
- ・ 第1回もそうであったが、意見交換会参加中は意欲に燃え、実践の青写真を考えるのだが、普段の勤務では忘れてしまうことが多い。この関心・理解を形にすることを心掛けたい。

校務お忙しい中、ご参加いただきました先生方、ご派遣いただきました学校長や各教科部会長はじめ関係者の皆さま、本当に有難うございました。九州エネルギー問題懇話会では、エネルギー環境教育の参考となる情報のご提供等を継続してまいりたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通 2-1-82 電気ビル共創館 6階  
(一社)九州経済連合会 九州エネルギー問題懇話会 担当：神山  
TEL：092-714-2318 FAX：092-714-2678 [HP] <http://www.q-enecon.org/>